

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和2年9月定例会での一般質問

小磯 利雄 議員

予防接種全町民に無料で実施を

コロナウイルス感染症が収束していない中、インフルエンザの同時流行に備えて希望する町民全員に予防接種を無料で行うべきではありませんか。



高齢者と中学生以下の予防接種を無料にします

定期接種となっている高齢者等に対するインフルエンザワクチン約5000円の接種費用は、これまで1000円の個人負担であったものを含め全額公費負担とし、併せて、乳幼児から中学3年生までの児童・生徒に対する接種費用の全額を助成していきます。今年コロナ対策を講じ、高齢者等に対するインフルエンザワクチン定期接種時期を早め、10月1日から開始します。



令和3年度は全町民に拡大されました

答弁のとおり令和2年度は高齢者等と乳幼児から中学3年生までの児童・生徒に対し、自己負担が無いように接種費用の助成等が行われました。

令和3年度は対象を全町民に拡大されました。

8人の議員が町政を問う

門馬 巧 P9

- 行政の土地借上げについて
- 道の駅の今後について

遠藤 浩 P10

- 新型コロナワクチン接種について
- 小・中学生の教育格差について

門馬 まりえ P11

- 広野町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画について
- 町政の継続について

北郷 伯弘 P12

- タクシー利用料金助成状況について
- 広野IGCC発電開始に向けて保安防災の安全管理体制について

畑中 大子 P13

- 福島第一原発の汚染水海洋放出反対意見について
- 折木下原地区への建設工事土砂の搬入について
- 給食調理施設の改善について

小磯 利雄 P14

- 災害時における初動対応について
- 建設残土118万㎡受入れについて
- 町道整備について
- コロナ禍、行政・組織について

渡邊 正俊 P15

- (株)広野町振興公社の事業経営の現況と今後の展望について
- 災害を想定した対応について

阿部 憲一 P16

- 新型コロナへの対応について
- 汚染水の放出を許すのか
- 避難者への郵送物の不達について

一般質問は、公の場である議会で、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

公共施設敷地

借地料の支払い金額は

町長／年間約543万円

門馬

町には、用地を買収できず借地のまま建設した公共施設等が数多くあります。今後、税収減少や財政悪化等が懸念され、少しずつでも買収ができればいいかと考えますが、令和3年度の借地の件数、総面積、総額、および昭和からの支払い総額を伺います。

町長

借地の件数は、町全体で27件です。総面積は、約1万8319㎡です。借地料の総額は、令和3年度における当初予算額で約543万円です。昭和49年度からの支払い総額は、1億5204万円です。

道の駅構想

今後の進め方は

町長／防災エリアとして整備

門馬

防災拠点道の駅の構想は、4つの専門部会でそれぞれ延べ数十回に渡り協議されてきました。毎回傍聴していただき、町民選出の委員が、近隣県を含む地域の道の駅で黒字の施設が何力所あるかと聞いた際に、コンサルタントの方が40数カ所中1カ所もないとの回答があるなど、とても望ましいものではないかと記憶しています。結果的に整備することができなくなりまして、今後どのように進めるのか、また、令和2年度末までに要した費用を伺います。

町長

国土交通省と協議し、道の駅の整備は休止することとしました。今後は災害対策工事を進め、事業規模を縮小、機能変更し整備計画を改め、町民の命を守る「災害に強いまちづくり」に向けた、有事の際の防災機能を備える防災エリアの整備を進めていきます。令和2年度末までに要した道の駅整備事業の総費用額は、用地・補償費1億6100万円、調査・測量・設計委託費2億4500万円、工事費2億2200万円、工事費合計6億2800万円です。



もんま たくみ 門馬 巧 議員



土砂採取区域